

総合戦略施策評価シート（平成27年度実績）

基本目標	安心なくらしを守り、住み続けられる地域をつくる
施策	公共施設の総合的なマネジメントとコンパクトさを活かした暮らしやすいまちづくり
概要	公共施設の総合的なマネジメントにより、施設の適正な配置と維持管理を推進するとともに、戦略的な有効利用を図る。 また、コンパクトな町域に市街地を形成している町の特徴を活かしたまちづくりを進めるため、計画的な土地利用の誘導を図り、誰もが移動手段を確保できるような、交通網の形成を図る。

数値目標

指標名	基準値	目標値
住み続けたいと思う町民の割合	76.50% (平成27年度アンケート)	上昇 (平成31年度アンケート)

重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移				目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30		
公共施設の総延床面積	67,824㎡				減少	
【説明欄】(進捗状況・数値で表せない指標について)						

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
公共施設の総合的なマネジメントプロジェクト	I
大規模公有地の有効活用プロジェクト	
成果や課題 (箇条書き)	公共施設再配置・町有地有効活用については、現況分析を進めるとともに、さまざまな角度から中長期的な視点で検討を行う。 広報紙や町ホームページ等を通じて、町民に対する周知広報に努める。

該当評価にレを入れてください

【参考】(総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋)
I：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
II：一部、事業を改善する必要がある
III：プロジェクト全体を見直す必要がある
IV：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
説明	本プロジェクトを構成する実施計画事業のほとんどが、平成28年度から実施する計画となっている。公共施設再配置・町有地有効活用について、現状分析並びに内部検討は計画通り進んでいるが、今後、外部検討委員会での議論や住民理解を深める必要がある。	

今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	公共施設再配置・町有地有効活用については、現況分析・中長期的な視点での検討を行うとともに、広報紙や町ホームページ等を通じて、町民に対する周知広報に努める。また、外部検討委員会での議論を深めるために、委員会の開催回数や期間について検討する。さらには、住民とのワークショップなど、対話の機会と時間をしっかりと確保し、十分な理解を得ながら進行する。
----------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input checked="" type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input type="checkbox"/>	5:その他 []
意見等	安心な暮らしを守り、住み続けられる地域を実現するために、公共施設の再配置・町有地の有効活用は重要な施策であることから、関係部署とのさらなる連携により、情報共有と現状把握及び分析を進めるとともに、中期的かつ多角的な視点を持って、取り組む必要がある。